

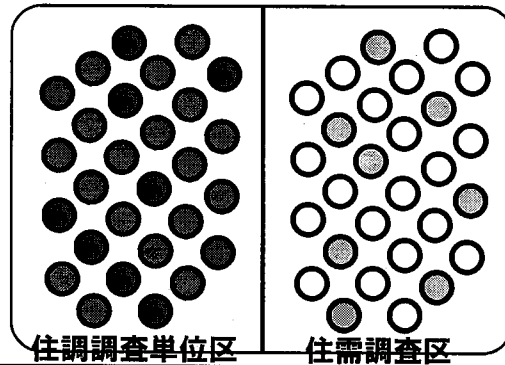
住宅・土地統計調査と住生活総合調査の内容比較(平成20年調査)

	平成20年 住宅・土地統計調査	平成20年 住生活総合調査
調査の目的	住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態、現住居以外の住宅及び土地の保有状況、居住世帯の実態を調査(いずれも物理的、客観的な事項)し、住生活関連諸施策の基礎資料を得る。	住生活基本法に基づく住生活の安定・向上に係る総合的な施策を推進する上で必要となる基礎資料を得るべく、居住世帯に対して、居住環境を含む住生活全般に関する実態や居住者の意向・満足度等を総合的に調査する(主として意識・意向調査)。
調査日	平成20年10月1日	平成20年12月1日
調査実施時期	・調査票配布 H20.09.23～09.30 ・調査票回収 H20.10.01～10.07	・調査票配布 H20.11.24～11.30 ・調査票回収 H20.12.01～12.07
調査区数	約21万	約12,900
抽出方法	平成17年国勢調査調査区(約98万)(第1次抽出単位)から、市区町村の人口規模別に約21万調査区を抽出、さらに、調査区毎に17住戸を系統抽出(第2次抽出単位)する。(層化2段抽出法)	平成20年住宅・土地統計調査の調査区(第1次抽出単位)から、大都市圏内外、市部郡部別に約1.3万調査区を抽出、さらに、調査区毎に8世帯を系統抽出(第2次抽出単位)する。(層化2段抽出法)
調査対象数 (調査票の種類)	約350万(OCR調査票)	約103,000(紙調査票)
配布実績票数	同上	約97,000 *住宅・土地統計調査に回答した世帯
回答数	同上	約83,300(回収率 約86%) (うち、住調との結合数:約81,300)
調査項目概要	・住宅の実態 ・住宅に居住する世帯の実態 ・住環境の実態 ・現住居以外の住宅及び土地の実態	・住宅及び住環境に対する評価(満足度、重視事項等) ・居住状況の変化の実態 ・住宅の改善計画の有無とその内容 ・居住者の資産やローン残高
調査方法	調査単位区から抽出した住戸を調査員が訪問の上、調査票を客体に渡して記入を依頼し、1～2週間以内に同調査員が再訪問して、調査票(封入可)を回収する。 ※一部、オンライン回答あり ※空き家も調査対象となる。	住調の調査単位区から抽出した住宅(世帯)を調査員が訪問し、調査票を客体に渡して記入を依頼し、1～2週間以内に同調査員が再訪問して、調査票(封入可)を回収する。 ※空き家は調査対象とならず、代替世帯を調査する。
調査の流れ	総務省—都道府県—市区町村—指導員—調査員—調査対象	国土交通省—都道府県—(市区町村等)—指導員—調査員—調査対象
集計結果単位	全国、大都市圏、距離帯、都市圏、都道府県、市町村(但し、人口15,000人未満の町村は未表章)	全国、大都市圏、地域ブロック単位、市部・郡部(都道府県単位では集計せず) *住調データと結合して集計
実施周期	5年 *昭和23年度から実施、平成20年は第13回目	5年(住宅・土地統計調査と同じ年) *昭和35年度から概ね5年ごとに実施、平成20年は第11回目
統計の種類	基幹統計	一般統計
調査所管部局	総務省統計局国勢統計課	国土交通省住宅局住宅政策課

住宅・土地統計調査と住生活総合調査の調査対象

平成10年調査

- =住調対象住戸
- =住需対象世帯



住宅・土地統計調査(住調):10/1調査

調査地域を分割した片方を調査単位区とし、調査単位区内を悉皆調査

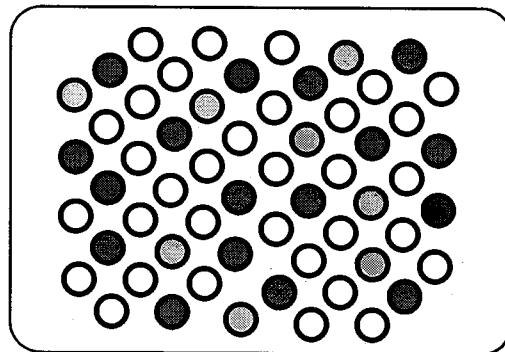
住宅需要実態調査(住需):12/1調査

調査地域のうち住調調査単位区でない地域を調査区とし、調査区内から約1/3の世帯を抽出して調査

平成15年調査

- =住調対象住戸
- =住需対象世帯

住調調査単位区



住宅・土地統計調査:10/1調査

調査地域全体(調査単位区)から、17住戸を抽出して調査

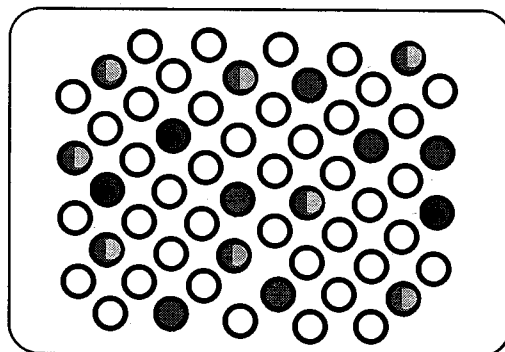
住宅需要実態調査:12/1調査

調査地域全体のうち、住調対象住戸以外から8世帯を抽出して調査

平成20年調査

- =住調対象住戸
- ◐=住調・住総対象世帯

住調調査単位区



住宅・土地統計調査:10/1調査

調査地域全体(調査単位区)から、17住戸を抽出して調査(平成15年と同様)

住生活総合調査(住総):12/1調査

住調対象住戸から8世帯を抽出して調査(調査事項からフェース事項を削除)

総務省承認
No.27445
承認期限 平成 21 年 8 月 31 日まで

秘 平成 20 年住生活総合調査 調査票

平成 20 年 12 月 1 日

国土交通省

*この調査は、平成 20 年 10 月に実施した「平成 20 年住宅・土地統計調査」にご回答頂いた世帯を対象として行う住生活の意識や意向などに関する調査です。調査へのご協力よろしくお願いいたします。

調査票の記入について

1. 記入していただくのは、次のページからです。※印のところは記入の必要はありません。
2. ご家族の皆さんで相談していただくのはかまいませんが、記入にあたっては、世帯主の立場でご記入下さい。
3. 記入欄は全部で 8 ページあります。太枠内の質問については、全世界帯答えて下さい。また、細枠内の質問については、それぞれの注意書きに該当する世帯のみ答えて下さい。
4. 番号をつけて答えを示している欄では、あてはまる答えの番号に○をつけて下さい。□で答えを書く場所を示している欄では、□の中は答えを記入して下さい。
5. 質問は 1 から順番に答えていただきますが、矢印(→)で次の質問番号が示してある回答に○をつけた方は、その指示の番号に進んで下さい。
6. 内容などについて不明の点がございましたら、調査員が調査票を集めにうかがったときにおたずね下さい。なお、「平成 20 年住生活総合調査の実施についてのお願い」の裏面に「用語の解説」及び「概略の記入の流れ図」がありますので参照して下さい。
7. この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、ありのままを記入して下さい。
8. この調査の集計作業は、厳重な管理のもと、民間の専門機関に委託します。

※集計用転記欄
(調査員用)

1 2
□ □

3 4 5
□ □ □

6 7 8 9
□ □ □ □

10
□

11 12
□ □

13 14
□ □

15 16
□ □

※ 調査員記入欄 世帯主の方は記入しないで下さい。

都道府県名	市区町村名	調査区番号	単位区符号	建物番号	住戸番号	世帯番号	調査員氏名

I 現在お住まいの住宅及びそのまわりの環境の評価について

問 1	(ア) 現在お住まいの住宅及びそのまわりの環境について総合的にみてどのように思っていますか。右に示す 4 段階の満足度のうち、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。	1. 満足している 2. まあ満足している 3. 多少不満がある 4. 非常に不満がある	17 □
	(イ) (ア)のうち、現在お住まいの住宅についてどのように思っていますか。右に示す 4 段階の満足度のうち、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。	1. 満足している 2. まあ満足している 3. 多少不満がある 4. 非常に不満がある	18 □
	(ウ) (ア)のうち、現在お住まいの住宅のまわりの環境についてどのように思っていますか。右に示す 4 段階の満足度のうち、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。	1. 満足している 2. まあ満足している 3. 多少不満がある 4. 非常に不満がある	19 □

(エ) 現在お住まいの住宅についてうかがいます。

次に示す01~15のそれぞれの項目について、どのように思っていますか。右に示す4段階の満足度のうちあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

	満足している	まあ満足している	多少不満がある	非常に不満がある
01. 住宅の広さや間取り	1	2	3	4
02. 収納の多さ、使いやすさ	1	2	3	4
03. 台所・トイレ・浴室等の使いやすさ、広さ	1	2	3	4
04. 地震・台風時の住宅の安全性	1	2	3	4
05. 火災時の避難の安全性	1	2	3	4
06. 住宅の防犯性	1	2	3	4
07. 住宅のいたみの少なさ	1	2	3	4
08. 住宅の維持や管理のしやすさ	1	2	3	4
09. 住宅の断熱性や気密性	1	2	3	4
10. 冷暖房の費用負担などの省エネルギー対応	1	2	3	4
11. 高齢者等への配慮（段差がないなど）	1	2	3	4
12. 換気性能（臭気や煙などの残留感がない）	1	2	3	4
13. 居間など主たる居住室の採光	1	2	3	4
14. 外部からの騒音などに対する遮音性	1	2	3	4
15. 上下階や隣戸からの騒音などに対する遮音性	1	2	3	4

01	
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

(オ) 現在お住まいの住宅のまわりの環境についてうかがいます。

次に示す16~30のそれぞれの項目について、どのように思っていますか。右に示す4段階の満足度のうちあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

	満足している	まあ満足している	多少不満がある	非常に不満がある
16. 火災・地震・水害などに対する安全	1	2	3	4
17. 敷地やまわりのバリアフリー化の状況	1	2	3	4
18. まわりの道路の歩行時の安全	1	2	3	4
19. 治安、犯罪発生の防止	1	2	3	4
20. 騒音、大気汚染などの少なさ	1	2	3	4
21. 通勤・通学などの利便	1	2	3	4
22. 日常の買い物、医療・福祉施設・文化施設などの利便	1	2	3	4
23. 子どもの遊び場・公園など	1	2	3	4
24. 緑・水辺など自然とのふれあい	1	2	3	4
25. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	1	2	3	4
26. まちなみ、景観	1	2	3	4
27. 親や親戚の住宅との距離	1	2	3	4
28. 近隣の入たちやコミュニティとの関わり	1	2	3	4
29. 福祉・介護等の生活支援サービスの状況	1	2	3	4
30. 子育て支援サービスの状況	1	2	3	4

16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	

(カ) (エ) (オ) に示す 01~30 の項目から、あなたが最も重要と思うものを1つ選んで下さい。次に、上記に続いて重要と思うものを4つまで選んで下さい。一方、あなたが重要と思わないものがあれば4つまで選んで下さい。

最も重要と思うもの

上記に続いて重要と思うもの

重要と思わないもの

50		51	
52		53	
54		55	
56		57	
58		59	

II 最近の居住状況の変化について

問2 最近5年間にあなたの世帯や住所、居住するための住宅の変化の状況についてうかがいます。(変化しなかった方も答えて下さい)

(ア) 5年前の世帯人員(世帯主を含む)は 何人でしたか。 ○5年前の世帯人員…… 人

* 単身赴任、出稼ぎなどでこの住居を離れて3ヶ月以上(その見込みを含む)になる人は除きます。
* 住み込みの家事手伝いも含めます。住み込みの従業員や下宿人は別の世帯として人員から除きます。

(イ) 最近5年間にあなたの世帯の身辺事情は変化しましたか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

[世帯の独立・分離等]	01. あなたの世帯が独立・分離した(新たな世帯を形成した)
	02. あなたの世帯が親や子の世帯と一つになった
[あなたのライフスタイルの変化]	03. 就職・転職した
	04. 退職・離職した
	05. 結婚した
	06. 離婚した
[世帯構成員の状況の変化]	07. 子が誕生した
	08. 子等が独立した
	09. 同居する世帯構成員(親など)と死別した
	10. 同居する世帯構成員(親など)が老人ホームなどの居住施設等へ入居した
	11. 同居する世帯構成員(親など)の介護を始めた
[変化しなかった]	12. 上記の変化はなかった。

60		61		62		63	
64		65		66		67	
68		69					
70		71		72		73	
74		75		76		77	
78		79		80		81	
82		83		84		85	
86		87		88		89	
90		91		92		93	

(ウ) 最近5年間にあなたの世帯が居住するための住宅は変化しましたか。01~13からあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

* 2つ以上の変化があった場合、最近のもの1つに○をつけて下さい。

[変化した
(住む所が変わった)]

01. 親・子・親族の家に移った
02. 親・子・親族の家に移り、リフォームを行った
03. 親の家を建て替えて同居を始めた
04. 家を新築した、または新築の分譲住宅を買った
05. 中古住宅を買った
06. 中古住宅を買って、リフォームを行った
07. 賃貸住宅、給与住宅に移転した
08. その他

[変化した
(住む所は変わらなかった)]

09. リフォームを行った
10. 前の住宅を壊して建て替えた
11. 親・子の住宅の敷地内に新築した
12. その他

[変化しなかった]

13. 住む所も住宅も変化しなかった → 問5へ

94 95

問2 (ウ) 1~12

● 住宅が変化した場合 (問2 (ウ) で1~12と答えた方) のみ答えて下さい。

問2 (ウ) 1~12

問3 (ア) 変化した理由は何ですか。01~22から主なものを2つまで選んで順番をつけて下さい。

第1位
第2位

[身近事情]

01. 就職や結婚などによる世帯の独立のため
02. 離婚などによる世帯の分離のため
03. 子の誕生などのため
04. 就職、転職、転勤などのため
05. 親または子との同居のため
06. 家を相続したため

[住宅に対する不満]

07. 住宅が狭かった、または狭くなったため
08. 住宅がいたんでいたため
09. 高齢者等への配慮 (段差がないなど) が不十分だったため
10. 断熱性や換気性能、採光などの住宅の居住性能に問題があったため

[環境に対する不満]

11. ローン、家賃などの住居費負担が大きかったため
12. 地震・台風時の安全性に問題があったため
13. 犯罪に対する安全性に問題があったため
14. 通勤、通学、買い物などが不便だったため
15. 日照、通風、騒音、子どもの遊び場などの環境条件が悪かったため

[これからの生活は備えるため]

16. 高齢期にも住みやすい立地・環境に住むため
17. 資産を形成したかった (不動産を所有したかった) ため
18. 住宅や庭等の維持管理が大変だったため
19. 子どもの成長や教育のため

[その他]

20. さしあたり不満はなかったがよい住宅にしたかったため
21. 立ち退き要求、契約期限切れのため
22. その他

(イ) 変化する以前のお住まいの床面積は何平方メートル (又は何坪) でしたか。

○ 変化する前の床面積 平方メートル (小数点以下四捨五入)
(又は 坪)

* 床面積には居住室の床面積のほか、その住宅に含まれる玄関・トイレ・台所・浴室・廊下・押入も含めます。ただし農家の上間などや営業用に使用している部分、例えば店・事務室の部分等、固定的な仕切りで仕切られていない場合はその部分の床面積も含めます。

(ウ) 住宅の変化に要した費用はおおよそいくらでしたか。

○ 費用の総額 万円
(十万円未満四捨五入)

* 土地の取得があった場合、土地取得費も含めて答えて下さい。
* 該当する資金がない場合、十万円の欄に0と記入して下さい。

(エ) 現在のお住まいと以前のお住まいを比較してそれぞれの項目についてどのように変わりましたか。右に示す4段階のうちあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

	大変良くなった	良くなった	変わらない	悪くなった
① 住宅の広さ・間取り	1	2	3	4
② 高齢者等への配慮 (段差がないなど)	1	2	3	4
③ 断熱性や換気性能、採光など	1	2	3	4
④ ローン、家賃などの住居費の負担	1	2	3	4
⑤ 地震・台風時や火災時などの住宅の安全性	1	2	3	4
⑥ 犯罪に対する安全性	1	2	3	4
⑦ 通勤・通学などの利便	1	2	3	4
⑧ 日常の買い物、医療・福祉施設・文化施設などの利便	1	2	3	4
⑨ 自然とのふれあいや空間のゆとりなど	1	2	3	4

96 97

98 99

100 1 2

3 4 5 6

① 7
② 8
③ 9
④ 10
⑤ 11
⑥ 12
⑦ 13
⑧ 14
⑨ 15

問2(ウ) 1~8

問2(ウ) 1~8

●住宅を移転した方(問2(ウ)で1~8と答えた方)のみ答えて下さい。

問4 (ア) 現在のお住まいに移転する以前の住宅にはどのくらいの期間お住みでしたか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。 *2回以上移転を行っている場合、直近のものについて記入して下さい。	1. 3年未満 4. 10~15年未満 7. 25~30年未満	2. 3~5年未満 5. 15~20年未満 8. 30年以上	3. 5~10年未満 6. 20~25年未満	16	
移転する前に持家に住んでいた方のみ答えて下さい。	[手放した]	1. 子・親族に譲渡した 2. 親族以外に売った		17 移転する前に持家に住んでいた場合のみ記入	
	(イ) 移転するとき、前の住宅・土地はどのようにしましたか。1~9からあてはまるもの1つに○をつけて下さい。	[貸した]	3. 子・親族に貸した 4. 借家として親族以外に貸した 5. 建物を解体して土地を貸した		
		[そのまま所有している]	6. 建物を解体して更地にした 7. 空き家になっている		
		[その他]	8. 住宅以外の用途として専ら利用している 9. その他		

Ⅲ 住宅の住み替え・改善の意向・計画について

問5 今後5年程度の間、あなたは住宅の住み替え・改善の意向・計画がありますか。1~9からあてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。 また、「家を購入する」「家を借りる」意向がある場合、購入する住宅の建て方、購入する住宅の新築・中古の区分、借りる住宅の所有関係についてあてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。 *定期借家権とは、あらかじめ契約期間を定めた賃貸借契約に基づく借家権をいいます。契約期間満了後、契約は終了し、更新されません。	[意向がある]	1. 家を新築する 2. 家を購入する → ○購入する住宅の建て方 1. 一戸建住宅 2. 長屋建住宅(テラスハウスなど) 3. 共同住宅(マンションなど) 4. まだきめていない → ○購入する住宅の新築・中古の区分 1. 新築住宅 2. 中古住宅 3. その他 4. まだきめていない 3. 家を借りる → ○借りる住宅の所有関係 1. 民営の賃貸住宅(一般の借家権) 2. 民営の賃貸住宅(定期借家権) 3. 都道府県・市区町村営賃貸住宅 4. 都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅 5. 給与住宅(社宅・公務員住宅など) 6. まだきめていない 4. 家を建て替える 5. リフォーム(増改築、模様替え、修繕など)を行う 6. 家を譲り受ける又は同居する 7. 家を建てるためにさし当たり土地だけを購入する 8. 今の家の敷地(借地)を買い取る	18 19 20 21
	[意向がない]	9. さしあたり何も考えていない → 問11へ	

見本

問5 1~8

問5 1~8

●住み替え・改善の意向・計画がある方(問5で1~8と答えた方)のみ答えて下さい。

問6 (ア) 住み替え・改善の目的は何ですか。01~16からあてはまる主なもの2つまで選んで○をつけて下さい。	[身辺事情への対応]	01. 結婚などによる世帯の分離や独立に対応するため 02. 子の誕生や成長などに備えるため 03. 就職、転職、転勤などに対応するため 04. 親または子との同居に対応するため 05. 家を相続するため	22 23
	[住宅の改善]	06. 安全性の高い住宅にするため 07. 快適・便利な住宅にするため 08. ローン、家賃などの住居費負担を軽減するため	24 25
	[環境の改善]	09. 安全性の高い居住環境にするため 10. 快適・便利な居住環境にするため	
	[これからの生活に備えるため]	11. 高齢期にも住みやすい住宅や環境にするため 12. 資産を形成する(不動産を所有する)ため 13. 住宅や庭等の維持管理を容易にするため	
	[その他]	14. さしあたり不満はないがよい住宅にしたいため 15. 立ち退き要求、契約期限切れのため 16. その他	

(イ) 住み替え・改善の実現はいつごろを考えていますか。あてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。	1. 1年未満 4. 6年以上	2. 1～2年 5. わからない	3. 3～5年	26 <input type="checkbox"/>
(ウ) 住み替え・改善の実現について、お困りの点や実現困難な理由は何ですか。 01～10 から主なものを2つまで選んで順番をつけて下さい。	[資金の不足]	01. 預貯金（住宅財形などを含む）や返済能力が不足している、またはその可能性がある	02. 現在の住宅・宅地の売却がうまくいかない（持家の方）	27 28 <input type="checkbox"/>
	[物件の不足]	03. 返済能力はあるが、勤務年数などの理由で資金融資が受けられない、またはその額が少ない	04. 支払い可能な額の範囲で、立地、広さ・間取りなど気に入った住宅がない	29 30 <input type="checkbox"/>
	[情報等の不足]	05. 住宅・宅地の物件に関する適切な情報が得にくい	06. 住環境や住宅性能に関する情報が得にくい	
		07. 住宅の改善方法について適当な相談相手（専門家）や適切な施工業者、仲介・販売業者に関する情報が得にくい	08. 民間賃貸住宅への入居を拒否される	
		09. 公的賃貸住宅への入居が困難	10. 特になし	
第1位 <input type="checkbox"/> 第2位 <input type="checkbox"/>	[その他]			

問5 1～3 ●「家を新築する、購入する、借りる」意向・計画がある方（問5で1～3と答えた方）のみ答えて下さい。

問7 住み替え先はどこを考えていますか。あてはまる主なものを1つに○をつけて下さい。	1. 現住所の近く（徒歩で行くことができる程度） 2. 同じ市区町村内 3. 隣接する市区町村内 4. 同じ都道府県の市区町村内 5. 他の都道府県 6. まだきめていない	31 <input type="checkbox"/>
--	---	--------------------------------

問5 1～2 ●「家を新築する、購入する」意向・計画がある方（問5で1～2と答えた方）のみ答えて下さい。

問8 住み替えるとき、現在の住宅・土地はどのようにしますか。1～9からあてはまる主なものを1つに○をつけて下さい。 *定期借家権とは、あらかじめ契約期間を定めた賃貸借契約に基づく借家権をいいます。契約期間満了後、契約は終了し、更新されません。	[手放す]	1. 子・親族に譲渡する 2. 親族以外に売る	32 <input type="checkbox"/>
	[貸す]	3. 子・親族に貸す 4. 借家（一般の借家権）として親族以外に貸す 5. 借家（定期借家権）として親族以外に貸す 6. 建物を解体して土地を貸す	
	[そのまま所有する]	7. 建物を解体して更地にする	
	[その他]	8. 住宅以外の用途として専ら利用する 9. その他	

問5 5 ●「リフォーム（増改築、模様替え、修繕など）を行う」意向・計画がある方（問5で5と答えた方）のみ答えて下さい。

問9 住宅の増改築、改修工事等どのようなものと考えていますか。あてはまる主なものを2つまで選んで○をつけて下さい。	01. 間取りの変更、収納スペースの改善・増加を行う	33 34 <input type="checkbox"/>
	02. 高齢者等に配慮し、段差をなくす、手すりをつけるなどする	
	03. トイレ・台所・浴室等の設備の改善、建具の取り替えを行う	35 36 <input type="checkbox"/>
	04. 冷暖房設備を改善・設置する	
	05. 断熱工事、結露防止工事等を行う	
	06. 防音、遮音工事を行う	
	07. 基礎・構造の補強を行う（耐震改修工事）	
	08. 内装の模様替えをする（壁紙、天井、床の張り替えなど）	
	09. 屋根のふき替え、屋根・外壁の塗り替えを行う	
	10. その他	

問5 1・2・4 5・7・8 ●「家を新築する、購入する、建て替える」「リフォームを行う」「さし当たり土地だけを購入する」「今の家の敷地を買い取る」意向・計画がある方（問5で1、2、4、5、7、8と答えた方）のみ答えて下さい。

問10 (ア) 現時点で、借入金を含め、いくらまでなら抛出可能だと考えていますか。土地を取得して住宅を建築する意向・計画のある方は、土地取得費も含めて答えて下さい。 *考えていない場合百万円の欄に0と記入して下さい。	○抛出可能な総額……	<input type="text"/> 00万円 (百万円未満四捨五入)	37 38 39 <input type="checkbox"/>
	(イ) そのうち借入金はどのくらいを考えていますか。 *資金の借入を考えていない場合は、百万円の欄に0と記入して下さい。	○借入金……	<input type="text"/> 00万円 (百万円未満四捨五入)

●住み替え・改善の意向・計画がない方（問5で9と答えた方）のみ答えて下さい。

問11 住み替えや改善の意向・計画がないのはなぜですか。あてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。

1. 現在の住まいに満足しているから
2. 何とかしたいが資金がなくあきらめているから
3. 商売や勤務の都合で移転できないから
4. 住みなれているので離れたくないから
5. 将来、親、子、親族のところに移る、または相続することを考えているから
6. 雇用や家計の先行きに不安を感じているから
7. 世帯人数が減ったり、周りが便利になったりするなどもう少したてば今の状況が良くなりそうだから
8. その他

問12へ

IV 今後の住まい方について

問12 (ア) 今後も現在のお住まいに住み続けたいと思いますか。あてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。

1. 住み続けたい
2. できれば住み続けたい
3. できれば住み替えたい
4. 住み替えたい
5. わからない

(イ) 今後住むとしたら、どのような住宅、立地が良いと思いますか。あてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。

①所有関係

1. 持家
2. 借家（給与住宅を含む）
3. 特にこだわらない

②建て方

1. 一戸建住宅
2. 共同住宅（マンションなど）
3. 長屋建住宅（テラスハウスなど）
4. 特にこだわらない

③新築・中古

1. 新築住宅
2. 中古住宅
3. 特にこだわらない

④立地

1. 街なかや都市の中心部
2. 郊外
3. 田園・リゾート地
4. その他
5. 特にこだわらない

⑤構造

1. 木造（防火木造を含む）
2. 木造以外
3. 特にこだわらない

問13 (ア) あなたは、ご自身の高齢期の介護や住居費の負担の軽減などのために、住宅の住み替えや改善を行うことを考えていますか。あてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。

1. 住宅を購入する、借りる、施設に入るなどして住み替える
2. 住宅の建て替えを行い住み続ける
3. リフォームなどを行い住み続ける
4. 特に考えていない

(イ) 住み替える場合、どのような形態の居住を希望しますか。あてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。

1. 持家（一戸建）
2. 持家（共同住宅）
3. 民営の賃貸住宅
4. 都道府県・市区町村営、都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅
5. サービス付きの高齢者向け住宅
6. 友人同士などグループで居住する住宅
7. 有料老人ホームなどの居住施設
8. その他
9. わからない

高齢期に住み替えることを考えている方（ア）で1と答えた方）のみ答えて下さい。

*サービス付きの高齢者向け住宅とは、緊急時の対応や相談等のサービスがうけられる高齢者向けの住宅のことです。
 *友人同士などグループで居住する住宅とは、単身の高齢者等がグループで互いに協力しあって共同生活を行うような住宅のことです。
 *有料老人ホームとは、食事などの日常生活のサービスがうけられる施設のことです。

V 親・子世帯との住まい方について

問14 (ア) 子との現在の住まい方について、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 子はいない
2. 子がいる →○子との距離

*子の配偶者も子に含めます。
 *別世帯となっている子が2人以上いる場合は最も近くに住んでいる子について記入して下さい。

1. 同居している（二世帯住宅を含む）
2. 同一敷地内、または同一住棟（長屋建・共同住宅）の別の住宅に住んでいる
3. 徒歩5分程度の場所に住んでいる
4. 片道15分未満の場所に住んでいる
5. 片道1時間未満の場所に住んでいる
6. 片道1時間以上の場所に住んでいる

(イ) あなた（世帯主）は、高齢期における子との住まい方についてどのようなものが望ましいと思いますか。あてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。

*子の配偶者も子に含めます。
 *子が2人以上いる場合は、最も身近に住みたいと思う子について答えて下さい。

1. 子と同居する（二世帯住宅を含む）
2. 子と同一敷地内、または同一住棟（長屋建・共同住宅）の別の住宅に住む
3. 徒歩5分程度の場所に住む
4. 片道15分未満の場所に住む
5. 片道1時間未満の場所に住む
6. こだわりはない
7. 子はいない
8. わからない

(ウ) 親との現在の住まい方について、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。
 *配偶者の親も親に含めます。
 *別世帯となっている親が2人以上いる場合は最も近くに住んでいる親について記入して下さい。

1. 親はいない
2. 親がいる → ○親との距離
 1. 同居している (二世帯住宅を含む)
 2. 同一敷地内、または同一住棟 (長屋建・共同住宅) の別の住宅に住んでいる
 3. 徒歩5分程度の場所に住んでいる
 4. 片道15分未満の場所に住んでいる
 5. 片道1時間未満の場所に住んでいる
 6. 片道1時間以上の場所に住んでいる

55
 56 直上55が「2」の場合のみ記入

(エ) あなた (世帯主) は、高齢の親との住まい方についてどのようなものが望ましいと思いますか。あてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。
 *配偶者の親も含め、最も身近に住みたいと思う親について答えて下さい。

1. 親と同居する (二世帯住宅を含む)
2. 親と同一敷地内、または同一住棟 (長屋建・共同住宅) の別の住宅に住む
3. 徒歩5分程度の場所に住む
4. 片道15分未満の場所に住む
5. 片道1時間未満の場所に住む
6. こだわりはない
7. 親はいない
8. わからない

57

VI 子育ての環境等について

問15 子育てを考えると、住宅や環境についてどのような点が重要だと思いますか。あてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。
 *現在、子育てをされていない方も答えて下さい。

01. 住宅の広さ・間取り
02. 住宅および住宅のまわりの防犯性
03. 安全性や遮音性など住宅の居住性能
04. 子どもの遊び場、公園など
05. まわりの道路の歩行時の安全性
06. 託児・保育所などの利便
07. 幼稚園・小学校などの利便
08. 小児科など医療機関の利便
09. 親や親戚の住宅との距離
10. 近隣の人たちやコミュニティとの関わり
11. 子育て支援サービスの状況
12. その他

58 59

VII 住宅の相続について

問16 (ア) 現在親などから相続している家について、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。
 *親などから生前贈与された家も含めます。

1. 相続した家に住んでいる
2. 相続した家に住んでいないが、別荘・セカンドハウスとして活用している
3. 相続した家はあるが、住んでいない
4. 相続した家を貸している
5. 相続した家はない

60

(イ) 将来相続する可能性のある親などの家について、あてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。

1. 相続し、その家に住む
2. 相続し、別荘・セカンドハウスとして活用する
3. 相続するが、その家には住まない
4. 相続するが、その家に住むかどうかはわからない
5. 相続するつもりはない
6. 相続するかどうかはわからない
7. 相続する家はない

61

将来相続する可能性のある親などの家がある方 (イ) で1~6と答えた方) のみ答えて下さい。

(ウ) 将来相続する可能性のある親などの家はどこにありますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。
 *3に該当する方は、具体的に答えて下さい。

1. 現住所と同じ市区町村
2. 同じ都道府県の他の市区町村
3. 他の都道府県 → 都道府県

62 直上61が「1」~「6」の場合のみ記入

63 64 直上62が「3」の場合のみ記入 (注) 都道府県コード

VIII 別荘やセカンドハウスについて

問17 あなたは、現在お住まいの住宅以外に住宅を持っていますか。1~3からあてはまるもの1つに○をつけて下さい。
 また、「所有している」「借りている」方は利用状況についてあてはまる主なもの1つに○をつけて下さい。

1. 所有している } → ○利用状況
 2. 借りている } → ○利用状況
 3. 持っていない、または借りていない } → ○利用状況
1. 週末や休暇を過ごすための住宅として利用している
 2. 勤務地などの近くの日常生活の拠点となる住宅として利用している
 3. 季節によって拠点となる住宅として利用している
 4. 在宅勤務などにより利用している住宅として利用している
 5. 親族が日常的に利用している
 6. その他 (人に賃借している、事業用に利用している など)
 7. 利用していない

65

66 直上65が「1」又は「2」の場合のみ記入

IX 要介護認定について

問18 あなたの世帯に要介護認定等を受けている方はいますか。また、「要介護認定等を受けている者がいる」場合、その要介護度等についてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 要介護認定等を受けていない
2. 要介護認定等を受けている者がいる
→○要介護度等
1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2
5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5

*要介護認定等を受けている方が複数いる場合は、最も重度な要介護度等の方について記入して下さい。

67
68 直上67が「2」の場合のみ記入

X あなたの世帯の住居費・資産について

問19 住居費負担についてうかがいます。

持家の方のみ答えて下さい。

(ア) 現在、あなたの世帯の住宅ローン残高は総額いくらありますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 住宅ローンを組んだことはない
2. 住宅ローンは完済している
3. 1,000万円未満
4. 1,000～3,000万円未満
5. 3,000～5,000万円未満
6. 5,000万円以上

住宅ローンがある持家の方(ア)で3～6と答えた方)のみ答えて下さい。

(イ) 住宅ローンの返済期間は残りどれくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 5年未満 2. 5～10年未満 3. 10～15年未満
4. 15～20年未満 5. 20～25年未満 6. 25～30年未満
7. 30年以上

*住宅ローンが複数ある場合は、現時点で、残りの返済期間が最も長い住宅ローンについて答えて下さい。

持家の方のみ答えて下さい。

○月平均のローン返済額 円

*この1年間に支払う毎月のローン返済額にボーナス月の返済額を加えて12で割ったもの

<共同住宅にお住まいの方>

○毎月の管理費 円

*管理組合費を含む

○毎月の修繕積立金 円

<敷地を借りられている方のみ>

○月あたり借地料 円

(ウ) 住宅ローンの返済(土地代を含みます)、住宅の管理費、修繕積立金及び借地料の支払金額があれば、その金額を答えて下さい。

*金額は千円未満を四捨五入し、支払のない場合は千円の欄に0と記入して下さい。

問20 現在の家賃やローン返済金又は割賦金などの住居費負担についてどう感じですか。

1. 生活必需品を切り詰めるほど苦しい
2. ぜいたくはできないが、何とかやっつけていける
3. ぜいたくを多少がまんしている
4. 家計に余り影響がない

問21 あなたの世帯で所有する資産についてうかがいます。

(ア) 現在、あなたの世帯で所有するすべての不動産(土地・建物)の価値はどれくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 不動産は所有していない 2. 1,000万円未満
3. 1,000～3,000万円未満 4. 3,000～5,000万円未満
5. 5,000～1億円未満 6. 1億円以上

*固定資産税評価額に基づき答えて下さい。
*現在お住まいの住宅以外に所有している住宅や宅地、農地、山林などすべての不動産を含みます。

(イ) 現在、あなたがお住まいの住宅の建築の時期(完成の時期)はいつですか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 昭和56(1981)年～平成20(2008)年
2. 昭和26(1951)年～昭和55(1980)年
3. 昭和6(1931)年～昭和25(1950)年
4. 明治44(1911)年～昭和5(1930)年
5. 明治24(1891)年～明治43(1910)年
6. 明治元(1868)年～明治23(1890)年
7. 明治時代よりも前

*建て増しや改修をした場合は、その部分が現住宅の床面積の合計の半分以上であれば、その時期を建築時期とします。

(ウ) 現在、あなたの世帯の貯蓄残高は総額いくらありますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 100万円未満 2. 100～500万円未満
3. 500～1,000万円未満 4. 1,000～3,000万円未満
5. 3,000～5,000万円未満 6. 5,000万円以上

*ここでいう貯蓄は、預貯金、保険、株式、投資信託(時価)、貸付信託・金銭信託(額面)、債券(額面)を指します。
*家計用だけでなく個人営業のための分も含めます。
*負債残高は含まず計算して下さい。

69 持家の場合のみ記入

70 直上69が「3」～「6」の場合のみ記入

持家の場合のみ記入
71 72 73

74 75 持家で共同住宅の場合のみ記入
76 77

78 79 80

81

82

83

84

調査にご協力ありがとうございました。